

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
石狩川流域における治水事業の評価と氾濫形態の変化に関する研究(研究期間: H21年~H23年)	北海道大学 木村 一郎	A
<研究概要> 石狩川の百年の治水史の中で、急激な都市化を背景としながら、捷水路、ダム建設、支川付け替え、築堤、排水機場などの種々の治水事業がどのような過程で進められ、それがいかなる効果を発揮し、それに伴って洪水氾濫形態がいかに変化してきたかを、史的資料整理、数値解析などを通じて多角的視点で検討、解明した。加えて、治水の進展に伴う合意形成過程の変遷を明らかにするとともに、現在の石狩川のかかえる治水上の問題点を整理し、将来に向けての提言を行なった。		
<事後評価コメント> 本研究では石狩川流域の治水事業の歴史を詳細に調べその効果を解析し、さらに氾濫形態を明らかにしており、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、本研究で明らかにした課題についての考察を進めるとともに、石狩川と深く関わりのある農地の形成といった視点も含めて検討を深められることを期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い